京城日報　朝刊　夕刊　共八頁

浙贛全線、完全に打通す

敵最後の據點橫峯を屠る

東西兩進擊部隊、感激の握手

【江西前線一日同盟】中支軍發表（七月一日午後四時）軍は浙贛線西部方面より進行せる友軍と呼應し七月一日午前十時三十分〇〇部隊をもつて橫峯を攻略、浙贛全線を完全に打通せり

第三、九兩戰區を兩斷

作戰の意義　江西軍報道部長談

【江西省〇〇一日同盟】浙贛線打通、敵第三戰區掃蕩作戰の完成に當り江西作戰軍報道部長は一日左の要旨の談話を行つた『本日橫峯城頭に東西兩軍が並んで立てた二本の日の丸の御旗を仰ぎ見ては作戰開始以來の苦鬪をうち忘れたゞ報いられた嬉しさと感激にひたるばかりである、そもそも浙贛線の皇軍による打通連絡は戰略的に見て敵第三、第九戰區の動脈を斷ち切り奥地との連絡機能を完全に無能ならしめたと、經濟的に見て浙江、福建よりする密輸ルートを完全に遮斷したとのほか皇軍が數百キロにわたる長遠なる作戰に偉大なる戰力を發揮したこと、および第三戰區軍と第九戰區增援軍とが殲滅潰亂されてしまつたことを如實に物語るもので、われわれはこゝに御稜威の下、進んで取らざるなく、攻めて落ちざるなき皇軍の力に一層の自信を深めるとともに、過ぎし戰鬪の犧牲となつた英魂に對し深き感謝の祈りを捧げるものである』

フカ地區突破

【ローマ三十日同盟】イタリー軍司令部三十日發表＝
一、獨伊軍機甲部隊はイギリス軍を擊破しつゝフカに殺到同地區を突破した
一、マルサ・マトルーの掃蕩戰で獨伊軍は俘虜二千名以上を得た
一、外軍需資材多數を鹵獲した
一、二十九日獨伊空軍は雪崩を打つて敗走する英敵軍の退路を爆擊また軍要施設多數に直擊彈を與へ

社說　支那事變の性格

一

支那事變は正に五年を經過した。今日一億國民が感激勇躍を禁じ得ない所以のものは大東亞戰に發展した世界潮流のたゞ中に於て帝國の武威いよいよ輝き、新しき建設は着々實現せられて國力の伸張誠に力強きものあるを識るからである。支那に魔手を延しうした米英勢力の擊滅は支那事變發展に伴ふ必然の結果ではあるが大東亞新秩序建設の意義に徹するには飽迄も支那事變そのものゝ解決に求めねばならぬといふまでもない。

二

實に日滿支の紐帶こそ東亞共榮圈の中心をなすものであり、滿洲國の發展はもとより、國民政府また着々その基礎を固め躍進期して俟つべきものがある。これを反面からいへば支那奥地に遁走した蔣政權が衰落の一路を辿つてゐることを物語るものであつて殊に米英打倒の火蓋が切られてから、その武力において、その經濟力において頗る窮迫した狀態にあることは專門家の一致した觀測である。例へば最近蔣政權中堅將校の相次ぐ投降の事實、または米が頻に援蔣物資補給の紙上プランを揭げ蔣を大にしてゐる事實、蔣や宋美齡までが躍起に狂奔されて…

三

米英が東に西に極端な擊滅を受けて往時の面影も見るに由ない現狀を眺めるとき蔣の感慨はどんなものであらう。凡そ天下の大道の決するところ小手先きの謀略は介入の餘地がないものである…

支那事變五年、過去の作戰戰略は對米英戰に威力を發揮し而して今南方諸地域の經略成るや更めて對支那事變に餘裕綽々たる態勢を示すに至つた。要するに事變の長期化は帝國の力を益々充實せしめ蔣政權をして愈よ弱體化せしめるものであつて、今後國民政府の育成と共に蔣擊滅へ邁進するばかりである。

英輸送船團ジブラルタル入港

【ベルリン三十日同盟】デー・ヌー・ベー通信マドリード電によれば、英軍はジブラルタル要塞に三十日ジブラルタルに入港した…同軍港を繞る空氣は俄然緊張度を加へて來たが、英國は同港の防衛のため急遽増強を決意したもの如くラ・リニヤよりの情報によれば、英將兵および軍需資材を搭載した多數の英輸送船は驅逐艦隊下に三十日ジブラルタルに入港した

支那事變茲に滿五年

共榮圈に占める大陸の地位

（中）

經濟篇

日滿支愈よ一體化

南方占領地域の擴大に伴ひ豐富なるその資源が一齊に注目をひき、これが開發および利用について暖かな論議がかはされてゐるばかりでなく、既に一部は早くも開發に着手されるに至つた、大東亞共榮圈の經濟建設に當つて南方資源の果すべき役割が頗る重要なことは論を俟たぬとしても、その根幹をなすべきものが日本と滿洲および支那特に北支の三地域を一體としたところの經濟圈であることをこゝに再認識する必要がある…

產業立地上の重要性

…

對日供給力增大へ

米英色、今や全く驅逐

…

農村再編の第一步

先づ基礎調査に主力

半島社會構造の基礎を成し、生產力の根底をなす農業機構の再編成については小磯總督、着任來しばしばその政策の最先端に揭げて強調し來つてゐるが、これが具體化は文字通り半島經濟の中核をなすものであつて極めて重視されつゝあるに對し、本府でも非常に慎重な態度で臨み目下農林當局においてこれが展開方法を研究、立案を急いでゐる、すなはち十七年度豫算に要求削除をみた同案の復活を期するのみならず、さらにこれを根本的に檢討した擴大案を企圖しつゝあり、骨子としてはまづ基礎調査の完備にありとし、十八年度に全面的調査費を要求するはずで一部調査は本年度において着手し、十八年度にはその實行の緊急性に鑑み、具體的展開をなさんとするものである、この大調査は土地の勞力關係が主體で畜材、器具その他が伴ふが、出來れば作物にまで及ぼしたい意向である、生產擴充との關聯における土地改良事業その他については、實行上必然的にこれらと密接な關係に立つものであるが、今のところ生產力の基礎たる機構再編成のみにおき、總督府全般の政策視野にして行くこととなつた

即ちこれらは鑛工業の發展に伴ふ近代產業の勞力供出、農村人口の移動及び滿洲開拓民計畫の遂行等主として問題が半島農業機構に深刻な影響を與へるに至つて、局はこれの解決を農村機構の再編成に求め、勞力節約によつて適正規模設定、勞力配分の合理化による農家經濟の安定を期し、これが調査費約卅萬圓を十七年度豫算に提出したが、これの未成立に逐つて部分的な農村整備計畫、分村分家の下に既定經費の流用によつて實行を策しつゝあつたもので、再び出發點に歸り適正規模の設定、自作農家の創設を新によつて展開せしめんとする再編成を企圖するに至つたものである。これは農業勞働力の合理活用から自力更生に要する農家の勞力を附與し、根本的には半島產業を安定ある基礎の上に生產力の擴充に進展せしめんとする大構造に出發し…

產業、交通の具體方策

大東亞審議會第四回總會答申

【東京電話】大東亞建設審議會ではさる五月四日の第二回總會において東條首相より諮問された大東亞經濟建設基本方策に基づく

一、大東亞の鑛工業および電力
二、大東亞の農業、林業、水產および畜產業
三、大東亞の交通および金融
四、大東亞の貿易

の具體的方策を樹立するために新たに第五、六、七の部會を設けて慎重檢討中であつたが、このうち第六部會で審議された大東亞の農業、林業、水產業および畜產業に關する具體的方策ならびに第八部會の大東亞交通基本政策の答申案の策定を見たので、一日午後一時半より首相官邸に第四回總會を開催、關係各部會長より原案を說明決定のうへ同日午後五時十分情報局より左のごとく發表、しかして第六部會が大東亞の農業、林業、水產および畜產業に關する方策の策定にあたつてもつとも考慮を加へた點は皇國民發展の源泉たる農村の維持、育成にあり、日本四割を確保せんとしてゐるが、これはさきに同審議會より答申した人口政策の基調と全く表裏一體の關係をなし皇國民族永遠の發展を期する雄大な構想である、しかして農林、水產および畜產の生產增強に關しては當地域の特性種に應じてそれぞれ綜合的かつ綿密な方針を建てる一方、調査研究機關の整備、自動車の派遣、資材の供給確保等萬全の方策が考究され、特に注目されるのは主要食糧については日滿を通ずる自給力の充實確保を根幹とし南方に於ける生產を補填食糧として確保せんとする點である、また主要食糧を相當數量貯藏し大東亞食糧自給計畫、交易機構の樹立など戰時における食糧對策の完璧が期されてゐる、第八部會で調整した大東亞交通基本政策は大東亞國土計畫の遂行、大なる見地から圈內を開拓し皇國を軸心に大東亞の大陸、海洋、島嶼を有機的に結合し國防力の充實と物資の交流を確保しもつて產業の建設を促進せんとするもので、このため

一、輸送の計畫化、二、交通要員の養成增強、豫備員の確保、三、輸送の合理化、能率の增進を期し、交通行政の統合整備を基調に海陸空の立體的な連繫による綜合的施設を整備擴充することを主眼とする

情報局發表

大東亞建設審議會第四回總會は七月一日午後一時半から總理大臣官邸において總理大臣をはじめ各國務大臣、各委員出席のもとに開會、さきに決定を見た大東亞建設基本方策にもとづく大東亞の農業、林業、水產業ならびに大東亞の交通に關する具體的方策の答申案を異議なくこれを決定、同五時十分散會した

新中國の基礎固し

清鄉工作滿一周年　汪主席談話發表

◇…汪主席…◇

【南京一日同盟】汪主席は一日清鄉工作一周年を迎へるに當り次の如き談話を發表、過去一ケ年にわたる清鄉工作の輝かしい成果裡に中國復興の基礎ますます固まりつゝある現狀を明かにした、要旨左の通り

昨年七月江蘇省の十四城に對し清鄉工作の實施を決定して以來その工作は鄉鎭區をはじめとして都市區に及ぼし、さらに上海南京間鐵道沿線以北より以南へと次第にその範圍を擴大した、いま過去一ケ年の跡を顧つてみると凡そ清鄉完成地區にあつては治安は全く確立し、人口增加、物價安定など民政は日々に改善され施策の見るべきもの頗る多い、さらに友邦日本が大東亞戰爭下にあるにかゝはらず初志にもとづき清鄉工作への協力をあくまで繼續しつゝあることは全く感謝に堪へない

清鄉の眞の

目的は共匪の絕對的な根絕による完全な治安の確立と同時に民政の改善にある、土豪や奸商もまた共匪と同じく民衆の敵であつて、これらを悉く驅除してはじめて眞の清鄉工作は完成されるといはねばならぬ、しかもかゝる高遠な理想を有する清鄉工作を眞に完成せしむるためには單に軍事力のみによつては到底なし得るものではなく、民衆の協力に依賴してはじめて輝かしき成果を擧げ得るであらう、完全なる清鄉は各人がまづその心身の中の惡を去り善に從ふことによつて完成され、かくして和平の模範たり國府強化の基礎たる役割を果し得るであらう、清鄉は何を措いても精神にはじまるといはねばならぬ

友邦日本は

大東亞戰後も清鄉工作に對し種々の協力便宜を與へられたが、しかもその友邦が中國に對して求むるところはたゞ同志の協力のみである、この日本の誠意に對してわれらのなすべきことは同心協力して東亞を保衛することである、この世界動亂の中にあつて中日兩國の安危は相關聯する、東亞の解放ならずして中國のみ生存することは出來ない、今日まで大東亞戰爭は赫々の勝利に推移してゐるが、英米百年の侮辱侵略を掃蕩してこそ中國の復興は可能となるのである、中國は友邦日本との協力によつてまづ

中國の安定

をはかり、さらに東亞の保衛へと邁進し大東亞共榮圈建設に貢獻せねばならない、この點に考へ及ぶとき清鄉工作は東亞の建設に一大意義を有するといはねばならぬ

憎し米英、東亞への野望 蔣の不明遂に之を導入す

大東亞戰爭起因と支那事變

倉島本府情報課長放送

倉島情報課長

倉島總督府情報課長は一日午後七時半から京城放送局のマイクを通じて「大東亞戰爭の起因と支那事變」と題して廿分間に亘り講演を行ひ支那事變五周年記念週間の第一日を飾つた、同講演において倉島課長は大東亞戰爭は決して突發的に發生したものではなく、五年前愚昧蔣介石の不明が世界の公敵米英を東亞侵略者として導入したことに始まり、日本が正義の劍を執つて米英撃滅の陣を布いたことこそ大東亞戰爭であることを明確ならしめた、大東亞戰爭の完遂こそ支那事變解決の日であると強調した同放送要旨は次の通りである

蔣介石は米英の手先となり其傀儡として戰端を開いた

本月七日を以て支那事變は勃發以來丁度滿五ケ年目を迎へる、その五ケ年の間、皇軍の武威は殆ど支那大陸全部に及んで居るのであるが、然し、奥地の重慶には今なほ蔣介石政權が殘存して依然無謀の抗戰を續けてゐる、然らば此の支那事變は何が故に起きたのであるか―暫く此の支那事變の起因について考へて見よう、一口にいふならば支那事變の張本人たる蔣介石は、米英の手先となりその傀儡として、我國に對し戰爭を開始して今日に及んでゐるのである、もとく蔣介石は抗日を目標として國民思想を統一し、抗日を實行することによつて自己の政權を維持しようとする所謂抗日政策を採り抗日政權となつたのであるが、然しこれが成立の當初においても、またその以後においても、蔣介石の背後にあつて陰に陽にこれを援助し、これを煽動し來つたものはかの米國と英國とに他ならぬのである

米英は日本の東亞に於る存在が邪魔でたまらなかつた

米國も英國も、共に過去數百年間に亘り東亞に貪慾飽くことなき魔手をのばし、東亞十億の諸民族を搾取し來つた憎むべき輩である、が、米英にとつては新興日本の東亞における存在が邪魔で邪魔でたまらなかつた、そこで彼等は改めて蔣介石に目をつけたのである、米英即ちアングロサクソン民族の從來のやり口を見ると、彼等は何時も他の國家民族の犠牲において自國の發展を圖るをその常套手段としてゐるかの如くである

例へば今回の第二次世界大戰の勃發以前においてもフランス、ポーランド、チエッコ、ギリシヤ等の諸國を糾合して、まづこれ等をしてドイツに當らせ、自分はその背後にあつてこれ等を聲援し以てドイツの勃興と發展とを阻害せんと努め來つた、而して東亞に於てかゝる役割を演じ來つたのは勿論蔣介石である、蔣介石が支那を統一し近代的國家にならうとしてゐるところへ、巧妙に話を持ちかけて『それは隣國日本を打倒する以外に手はないのだ』と説得し、そのためには金も貸さう物も送らうといふ譯で、こゝで米英と蔣介石とは、日本を目標として完全に意見の合致を見た、支那事變勃發以來以前の約十數ケ年に亘る支那大陸に於ける險惡且不明朗なる幾多の出來事は、何れも米英と蔣介石の合作に原因するものに外ならぬことは皆様の既に御承知の通りである

米英依存を除けて蔣の抗日戰略は存在してゐなかつた

次に蔣介石は、抗日を遂行するには長期戰に限ると考へてゐた、即ち日本と支那とが戰爭を開始すると、日本は交通の要路に沿うて奥地へ奥地へと進撃して來るに違ひないが、然し重慶まで逃げこんでしまへばそこまでは攻めて來ないであらう、それで重慶を根據地としてズーッといつまでもゲリラ戰を續けてゐれば、その中に日本は經濟的に資源が貧弱であるから段々と弱つて來るであらう、また米國や英國も固より日本の大陸に對する發展を喜ばぬ國々であるから或る時期には必ず日本に對して戰ひを仕掛けるであらう、その時こそ蔣介石の勝利の日であるといふ風に考へて、はかなくも最後の勝利の日を夢見てゐたのである

從つて蔣介石の抗日戰略の背後には、何時も米英の援助と參戰が計算に入れられてゐたのであつて米英依存を除外しては蔣介石の抗日戰略は最初から成立しなかつたのである、また米英は蔣介石をして自己に依存せしめ、やがてこれを援助して參戰するかの如くに見せかけて、蔣介石をして出來るだけ對敵に日本と戰はしめ、以て日本の國力を一歩一歩と消耗せしめようとたくらんでゐたのである

大東亞戰に依り眞の敵米英に對し撃滅の火蓋を切つた

然し蔣介石と米英の如上の合作に對して遂に最後のとゞめを刺す日が到來した、即ち昨年十二月八日の大東亞戰爭勃發によつて我が日本は支那事變における眞の敵である米英に對して斷乎として撃滅の火蓋を切つたのである

このとき米英は、なほも最後まで蔣介石や和蘭を躍らせ、ABCDの包圍陣を結成することによつて、日本を威嚇恫喝して武力戰に訴へることなくこれを屈服せしめようと努めたのであるが、既に挑戰的の緒を切つたわが日本に對して今更米英の威嚇恫喝等が何の役に立つものでもない

今や日本は支那事變の背後の敵であり眞の敵である米英を擊滅するのみならず、更に進んで過去數百年に亘る米英の東亞における搾取と魔手とを驅逐して、東亞をして東亞本然の姿の回復を企圖する道義の戰爭に邁進してゐるのである

畏くも十二月八日の大詔には

中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ玆ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提携スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス

と仰せられて支那事變と大東亞戰爭の關係、即ち支那事變解決のためにはその背後に存在する眞の敵である米英を擊滅せねばならぬ、米英を擊滅することは同時に東亞をしてその本然の姿に立ちかへらせ、もろくの民族をしてその所を得しむる所以であることを御示しになつてをられる次第である

然るに米英は無力で重慶が米英側の第二戰線と化した

而して東亞においては十二月八日の大東亞戰爭勃發直後は、まるで鬼の首でも取つたやうなはしやぎ振りであつたことは申すまでもない、それは蔣介石等の豫定計畫である米英の參戰といふことが遂に實現したからである、米英が參戰したからには、米英の優勢な武力は忽ちにして日本を屈服せしめてしまふに違ひないと考へた

然るに實際はどうであつたか、事實は全く蔣介石等の豫想と期待とを裏切つてしまつた、頼む所の米英は到る處で敗戰を重ねてゐるのであるから、さあ重慶の驚き方、あはて方は大したものである、そこで一層に米英の腑甲斐なさに對して攻撃の火蓋を切つて

「米英がかくの如き無力振りなるにおいては、日本はやがて東亞共榮圏の完成に成功するであらう、從つて重慶もまた日本に屈服せざるを得ないであらう」

といつて米英の攻戰振りを非難すると共に、米英を恫喝して一層の援助を要求したのである

こゝに到れるをとゞめたるは米英である、米英は重慶の前に完全にその無力を暴露すると共に、しかも今こゝで重慶に逃げられては大變である、何となれば今となつては重慶こそ米英にとつては彼等の所謂東亞における第二戰線であるからである、米英は重慶をしてあくまで抗戰せしむることによつて、日本を後方から牽制し、大東亞戰爭における自己の負擔と危險とを幾分だりとも輕からしめようと目論んでゐるからである

米英は重慶の恫喝に對して早速金を貸したり、また印度から物資を送ると云つたりして、必死となつてこれが懷柔につとめ、重慶の米英側陣營よりの脱落防止に躍起となつてゐるのであるが、然し重慶内部の動搖は日一日と深刻になりつゝあるのが眞相である、既に物資唯一の補給路であるビルマルートは我が方によつて完全に遮斷され、更に最近は北支、中支、南支と四方八方より我が軍の鐵槌を下されつゝあるのであるからその抗戰意識の日々低下しつゝあることは申すまでもないと同時に、過去五ケ年間における支那民衆の苦痛は今や蔣介石に對する怨嗟となつて支那全土に彌漫たる現況である

日本の態勢が强化するに反して重慶内部の動搖は深刻

然るに我日本は今や如何なる態勢にあるであらうか、我日本こそ東亞より米英勢力を驅逐して大東亞共榮圏の確立に邁進しつゝあるのであつて、今や戰爭即ち建設、建設即ち戰爭に突入しつゝあるのである、蔣介石等は日本はやがて資源に於て敗北を喫するであらうと言ふ風に考へて居たのであるが、大東亞共榮圏の建設と共に、日本は資源に於ては最も富める國となりつつあるのである、これに反して米英は東亞の資源に依存することが大であつただけに、東亞より締出しを食つた今日となつては益々貧乏になりつゝあるのだ

換言すれば、日本は現在に於ては武力に於て資源に於て、まことに必勝不敗の立場をいよく強化しつつあるのであつて、此の現前の事實によつて、重慶内部の動搖は日々深刻化しつゝあることは想像に難くない

支那四億の民衆は固より東亞に於る我等の兄弟である

然して玆で私共の想ひを致さなくてはならぬ點は、蔣介石の誤つた抗日政策に躍らされてゐる支那四億の民衆の事である、支那四億はもとより東亞における我等の兄弟である、まことに日本と支那とが相爭ふ如きは長くも大詔にお示しになつておるやうに『兄弟牆ニ相鬩ク』の類であつて、誠に千萬な次第であるといはねばならぬ

いはゞ米英の犠牲となつて東亞の兄弟が相爭ひつゝあるのが支那事變であるともいひ得るが、從つて支那においても心あるものは早くもその愚を悟り、何とかしてこの狀態を脱却せねばならぬと考へてゐたのであつて、汪精衛氏を首班とする南京の中央政府は、早くもこの事變を正當に認識して我が日本と協力して東亞新秩序の建設に邁進しつゝあるのである

重慶に鐵槌を下し支那事變の解決に邁進せねばならぬ

東亞共榮圏の中核體は何といつても日滿支の強力なる結合である、ことは忘れてはならぬことである、日滿支が緊密なる結合をとげて遠く南方にのび行くのが東亞共榮圏である、從つて今後において精神的にも經濟的にも、日滿支の關係は益々緊密強固になつて、以つて共榮圏の中核とならねばならぬこと勿論であるが、そのためには一日も早く、眼れる蔣介石及び重慶政權に對して斷乎鐵槌を下しこれが擊滅をはからねばならぬのである

重慶内部の動搖の深刻なることは、とりも直さず支那四億の民衆の救ひを求める聲なのである、支那四億は一日も早く重慶の眼れる指導を驅排し、日本との提携の上に新しい秩序と幸福を待ち望んで居るのである

然るに重慶は、内部に深刻なる動搖をはらみつゝも、なほ米英の手先となつてこれが第二戰線と化し無謀の中に抗日を續けてゐるのである、私共はこの迷夢をあはれみつゝもこゝに最後の鐵槌を下しこれが禍の根を斷ちきることに斷乎邁進せねばならぬのである

而してそれは、重慶において解決すると共にロンドン及びワシントンにおいて解決すべき問題である、大東亞戰爭によつて米英が弱まれば弱まるに比例して、重慶もまた弱まつて來た事實に徴しても自から明らかで、もしも米英が屈服すれば恐らく重慶そのものには何も存在しないであらうと申しても敢へて過言ではあるまい

これを要約すれば、大東亞戰爭は實に支那事變を解決するために起きたのである、何となれば支那事變はこれが眞の敵である米英を擊滅せずしては解決が出來ないからである、然して、支那事變の目的は支那四億を吾等が弟分とし、これと相提攜して以て東亞共榮圏の確立に邁進せんとするにあるのである

然るに重慶は今に及んでなほこの吾等の崇高な目的に對して、依然更に目を蔽ひ耳をふさいで理解しようとしないのである、その蒙迷なることまことに憐れむべきものを感ずると共に、今こそこれに對して最後の鐵槌を下すべきである

支那事變五周年記念週間の第一日目に當り以上支那事變解決に對する皆様の鐵血の決心を希望する次第である

遲しき哉この生態

支那の一般情勢を観る

重慶手を擧ぐは未し

我が陸海軍の南方における決定的大勝から那鑑きビルマ全域の制壓によつてビルマ派遣の蔣介石直系の精鋭軍は全滅し更に我が軍は國境方面に進攻に備へるため相當の兵力をこれに配備し支那大陸においては支那派遣軍の進攻作戰開始と更に我が本格的大作戰を怒れて重慶政權は戰々兢々として大動搖を來しその抗戰前途に對する不安動搖は今や蔽ふべくもない事實である、然し一面において重慶政權は大東亞戰爭勃發後における國際的地位は向上したと稱し專ら英米を頼みとしてゐる觀であり、自力抗戰態勢の確立に邁進し總反攻準備として本年一月より軍隊の整理統制を斷行せんと計畫したが、人員補充等意の如くならずして遲延し本年九月を目標として準備してゐる有樣である、現地各方面の最高指揮者の意識する所によつても重慶政權が斷然に屈伏して手を擧げる如きことは

到底考へられず、寧ろ將來必勝開勢の好轉に一縷の希望を繋け長期戰を策してゐるとの見解に一致してゐる

敵の戰意逐次低下す

而して敵の意圖し來つた米英の援助による連繋工作と英、米、ソ聯等聯合國の攻勢と時期を同じくして決行せんと企圖してゐた所謂總反攻の準備は未完成のまゝ遂に南方におけるビルマその他對外ルートの完全遮斷によつて絶望となり又米、支空軍合作して東部支那に空軍基地を設けて日本本土に對する空軍ゲリラ戰を展開せんとする企圖は相當夢想的なもので、我が空軍の反覆攻撃による飛行基地の破壞に對しては直ちに修理するといふ狀態であつたが、今次の江西、浙江作戰によつてその基地は悉く我が手中に歸して絶望となつた、從つて今後は如何にして現在の戰力を保持して行くかに努める外なく軍事行動は消極受動的となり最近の諸作戰においても敵は遊擊戰を主體として、その戰意、戰力は逐次低下しつゝあることは顯著に認められる

國共關係依然對立か

國共關係は依然對立を以つて推移するものと見られ共產軍は執拗にその地盤の擴張に努めてゐる、昨年來の我が徹底的經濟封

伐と本年度における北支方面の剿共作戰は甚大な戰果を擧げ殊に經濟による困難は甚だしきものがあり、今後は重慶政權の弱味に乘じ逐次重慶治下へ進出を企圖するものと見られ、これに對し蔣介石は中央集權化の進行と共に共產黨に對する統制力强化の必要に迫られ、漸次可能範圍の彈壓を試み両者の對立相剋は激化するの傾向に在る、然し現在の狀勢はこれによつて支那事變の動向に決定的變化を及ぼす如きことは考へられぬ

平和論の擡頭著し

重慶よ見よ樂土謳歌の人々を

重慶軍の最近の戰力

昭和十三年末武漢陷落直後約二百五十ケ師を有してゐたが、その後四ケ年に亘る増編と整備によつて現在は三百三ケ師約三百萬の兵力を擁してゐる、蔣介石は整備に際し十數ケ師を増加して現在においては三百三ケ師約三百萬の兵力を擁してゐる、蔣介石は整備に際し舊時代の地方的色彩を一掃して強力な中央集權を確立し軍隊統制工作を強行してその統制力の强化擁護に努め現在蔣介石の地位は重慶において益々重きをなし斷然頭角を拔きんでゝあることは認められる

共產軍は將にとり揣

中央軍は總兵力の四〇パーセントを占め從來の地方軍閥は四川軍の一〇・七パーセント他はそれ以下にして兵力の配置は蔣の直接指揮下に置かれてゐる、而して共產軍廿五萬(遊擊軍を除く)の存在は依然として總兵力の上の一大癌として殘存してゐる

重慶軍最近の素質は

上級幹部統帥指揮能力は五年にわたる實戰の經驗によつて向上してゐることは否まれないが一般の幹部は大體補充の結果、能力は低下し特に中級幹部以下の能力は低劣である、蔣はこの缺點を補はんと幹部訓練に努めてゐる、兵は現在徵兵によつて各方面各師部から入隊せしめる結果、知的に若干向上を示し年齡は青壯年化してゐる、然し日本軍の不斷の鹽撫作戰によつて一ケ年の兵員更新率は平均六〇パーセント程度で軍隊の訓練、教育、剛練等に多大の影響を及ぼしてゐる、戰は將兵を通じ抗日意識はなほ熾烈であるが、然し戰意の低下は漸次顯著となつて來た

小銃など重慶で製造

ビルマルート遮斷後の重慶軍は空輸による飛行機以外、火砲、戰車、自動車、通信器材の補充は絶望となつたが迫撃砲、重機關銃、小銃、手榴彈及びその彈藥は大體重慶において製造可能であり、戰力增進に努めてゐる、從つてゲリラ戰遊擊戰による持久戰には差支へない程度で小銃、機關銃、迫撃砲などの裝備の七—八パーセントには整備されてゐる然しその整備は不完全であつて外國製品は

三—四パーセントであるからこれを消耗すればその補充は愈々困難と思はれ今後兵器、彈藥の補充には多大の苦心を拂はざるを得ない狀態である、最近蔣介石は彈藥の節用について屢々嚴重指令を發してゐる

彈藥類の質低下著し

昭和十五年の敵撃彈藥は小銃一に對し、彈藥二〇八發、昨十六年度は百六十一發に減少し又重機においては十五年四百九發であつたものが二百四十四發となり、重機は一千四百廿一發に比し七百八十八發といふ數字を示し、その消耗搬の減少を窺知し得るが、最近の浙江、江西方面の作戰においても著しくこの傾向が見られ彈藥の質の如きは低下して裝甲車に命中しても先が折れる有樣である

兵員の補充は可能視

昭和十六年度の敵遺棄死體は卅四萬七千六百七十一捕虜は十萬四千六百八十二にして其他戰傷、逃亡、兵役解除、潰散等を合して推算した總數は實に百七十萬二千に達してゐる然し江蘇、河北、山東、山西を除いた敵地區内の動員能力は百七十一萬六千程度と見られ兵員の補充は目下のところ可能である

企圖は次々に畫餅化

蔣介石は武漢陷落までを抗戰第一期とし、抗戰第二期は遊擊戰によつて日本軍の兵力消耗を圖ると共に整備を實施して戰力を恢復增强し第三期の總反攻を狙つてゐる、即ち第一期及第二期整備は昭和十四年十一月を以て完了したので、同年十二月から翌十五年一月に亘り牛決戰的攻勢をもつて總反攻に轉じて來た、これが有名な冬期攻勢であつたが、その企圖も我軍の豫め知つて多大の損害を蒙つて失敗するや、同年一月より第三期整備期に入りこの間ソ聯の勃發により反攻の機を狙つたが、我が皇軍不斷の作戰によつて實現する能はず、昭和十五年十一月より十六年四月に至る間を第四期整備期と定め補兵軍

或は突擊部隊の特設によつて局部的に我が態勢の攻略を企圖したが、これ亦悉く失敗した、其後日米英の國際關係の惡化に乘じ、極力總反攻の準備に努めてゐたが、大東亞戰爭勃發するや本年一月軍制加強辨法を發布し師を以て戰略單位としてその運用を輕快ならしめ又軍を以て戰略單位として充實を期し本年四月を以て完成を命じたが更に九月に延期した、これが爲め總反攻の企圖は全く絶たれ最近は米英の總反攻と期を同じくすると稱して營々として多年に亘り努めて來た整備も我が在支軍の反覆不斷の進攻戰と大東亞戰爭に於ける米、英等の連敗によつてその目的は喪失するに至つた

和平氣分處々に擡頭

以上が支那事變五周年を迎へた現在の重慶軍の實狀であるが蔣介石の統制力の最近いよく强化されたこと、移しき兵力の損耗は現在に於ては補充が可能であること、然し兵力の通じての抗日意識は樂觀出來ぬこと、將兵を大觀戰の結果中堅幹部以下の能力は低下し裝備に於てはビルマルートの遮斷によつて火砲、戰車、通信器材等の補給は絶望となり又物價の昂騰による將兵の困窮、支給品の缺乏等によつて戰意の低下は顯著である、殊に大東亞戰爭における英米聯合國の打續く敗北と最近支皇軍の活潑なる進攻作戰でて深刻なる影響を與へ重慶軍有力部隊の間に和平氣運の擡頭して來た事實もある【完】

商議機構へ統合か

經濟統制協力會解散説

現在各道府邑を單位として設置されてゐる經濟統制協力會は、行政官廳の統制經濟施策遂行に民間側が積極的に協力すべき綜合的經濟機能の運營機關として設立されたものであるが、最近の活動狀況をみるに殆ど轉廢業禁止、特殊品の認定事務を主なる事業として運營されつゝある狀態である、併しながら認定事務の如きは商工會議所の一機構として容易に行へる性質のものであり、從つて右協力會が現狀のまゝで推移すれば屋上さらに屋を架するが如き機關化するとの見地から、これを商工會議所機構の一部に統合歸一すべしとの議論が關係方面に擡頭するに至つたことは注目される

朝鮮重化學工業 日本化成が買收

三菱系日本化成ではかねて殖產當局の斡旋で信越電氣系朝鮮重化學工業(社長小坂順造氏、資本金五百萬円、半額拂込)を買收すべく商議を進めてゐたが、このほど次のごとき條件で買收談が成立し、朝鮮重化學は經營のすべてをあげて日本化成の手に讓渡すると共に、名稱は總督府の希望もあり朝鮮重化學工業會社として存置し信越系資本および重役はすべて後退、信越系の投資に對して日本化成の株式を交付、從來の朝鮮重化學工業の株式は全部日本化成が引受けると同時に會社の經營はすべて日本化成において運用する

大東銀行開業 滿系三銀行合併

【安東特電】市内の滿系三銀行、興茂、安東地方、義來の三銀行はかねて合併許可となり義來資本金を五百萬円に增資して單一銀行として統合、その間開業準備を急いでゐたが萬端の準備整ひいよく七月一日から大東銀行として新發足した

事務所は當分中富街の興茂銀行を使用することになつてゐるが近く舊中國銀行跡に引越すことになつてゐる

翼贊會錬成部長に岩松氏

【東京電話】翼贊會錬成局錬成部長兼施設部長には現長崎高商校長岩松五良氏が就任することゝなり一日左の如く發令された

長崎高商校長 岩松五良

命翼贊會錬成局施設部長兼錬成部長

變更の意志なし、鐵原鑛石の價格問題

鐵原鑛石價格問題として鐵内地製鐵所送り原鑛石價格の割高說も對南方鑛石價格との比較計算においてはかかる根據なく、原鑛配給の統制力からも問題なく、また採算にはマーヂルを鐵鑛補償金で補助してゐるのであるからこれを採り上げる餘地なしとして現在の價格體制を變更しない意志を明確にしてゐる

昨年山元別原價主義によつた價格を指定し、その後の情勢からいつても山の原價が割高であり、然も山は採算難なりとの說に對し總督府は變更を要する事情なしとしてゐる

本府辭令 (卅日附)

忠北道知事 伊藤泰彬

陞敍高等官一等 京城帝大教授 時枝誠記

同 佐藤武雄

陞敍高等官二等 (各通)

本府事務官岡信俠助▲遞信事務官藥師寺海員審判所理事官深川俊夫 [illegible]

肚と坐禪と

◇…去る日曜日朝校で坐禪の實驗を拜見しての感想です、一言にしていへば屢たな坐禪で驚嘆を持つて居つた老師の御叱りを受けるか知れませんが、寫眞の上の姿勢では正門の坐禪とは申し兼ねる、線香一本するゐるにして

◇…寫眞の上で見ると力の拔き方が惡く力の入れ方がなほ惡いこんな姿勢では頭腦の働が出來て腹の働は出來にくいと思ふ、第一身體を惡くします、坐禪を始めるとき樓で横から寫眞を撮り一週間後、更に寫眞を撮つて較べたとき、正しい坐禪は坐禪の効用を眼のあたり看、また體驗出來ます

お斷り 昨朝刊第二面所載の寫眞は陸軍省提供のものです

カーバイドノ配給統制細則改正ニツキ謹告

今般カーバイドノ配給統制細則ガ改正サレ八月度ヨリ實施スルコトナリマシタノデ需要者皆様ニ心掛ケテ貰ヒタイ事項ヲ御通知申上ゲマス

一、一罐以上ノ需要者ハ全部申込書ノ提出ヲ必要トスルコト

二、申込書ノ提出ハ需要月ノ六十日以前ナルコト

三、申込先ハ需要地所在ノ道ニアル道販賣組合ニ提出ノコト

四、現品賣買ハカーバイド割當通知書引換ニアラザレバ現品ノ受渡ヲナスコトヲ得ザルコト

○カーバイド配給申込書ノ提出ナキ需要者ニハ配給ガナイ事ニナリマシタ

○道販賣組合ハ各道廳所在地ニアリマス

○カーバイド配給申込書ハ各道販賣組合並ニ道販賣店ニテ差上マス

○八月度ノ申込書提出期限ハ經過シテ居リマスノデ當月分ニ限リ七月十日迄延期シマス

朝鮮カーバイド配給組合

京城府南大門通二丁目(日本海上ビル) 電話本局六二三三、七七八一、八二三九

各道カーバイド販賣組合

道	所在地	電話
京畿道	京城府南大門通二丁目(日本海上ビル内)	本局七七八一番
忠清北道	清州郡清州邑本町一丁目(忠北石油會社内)	清州二四番
忠清南道	大田府本町二丁目(日之出商會内)	大田七五九番
全羅北道	全州府全羅北道廳調整課内	全州四番
全羅南道	光州府明治町二丁目(キイ商店光州出張所内)	光州九二六番
慶尚北道	大邱府大和町七五(殖銀北隣)	大邱一七六二番
慶尚南道	釜山府本町一丁目二五(立石商店内)	釜山四二六一番
黄海道	海州府南旭町四一七(岡商店海州支店内)	海州五三八番
平安南道	平壤府泉町二一〇(富士商會内)	平壤三八二二番
平安北道	新義州府常盤町六丁目(常盤洋行内)	新義州四一三番
江原道	春川邑本町二丁目(野入商店内)	春川一一九番
咸鏡南道	咸興府咸興公會堂内	咸興二一三五番(取次)
咸鏡北道	清津府浦項町(出光興產株式會社清津出張所内)	清津二四四一番

ニコバル群島奇襲占領 従軍記

感激、上陸成功の信號

神兵待つた住民の歡迎

【〇〇艦上にて一日今井海軍報道班員發】わが海軍部隊は六月十三日および十四日の兩日にわたり印度政府に直屬するニコバル群島奇襲占領に成功、わが軍艦旗を南海の空高く飜した、記者は驅逐艦〇〇に便乘、印度洋の怒濤を蹴つて展開された勇壯な同作戰に從軍した

海空一體の制壓

十三日午前八時(日本時間)『配置につけ』の號令に艦内の静けさは一瞬にして破られた、未だ夜は明けきらない、前甲板出て見ると薄暗い、しかも熱苦しい甲板上を水兵さんたちは飛ぶやうに走つて砲射撃に砲側にと素早く配置につく、今朝も相變らずうねりが高い、モンスーンの季節に入つてゐるのだ、暗い海上面かくろぐと巨大な島が浮んでゐる、目指すニコバル群島沖合に達したのだ、やがて日の出とともに『戰闘準備』の號令が下る、敵機を捲き密林に蔽はれた右手の大島が大ニコバル島、左手が小ニコバル島だ、本艦はまづこの兩島に挾まれた幅四浬のセント・ジョーヂ水道を掃海する任務がある、この水道は未測量でしかも潮流は激しく珊瑚礁が多く水路誌にも『兩島には接航すべからず』とあるほどの魔の水道なのだ、しかし本艦は快速でこの水道に進つて行く、潮流四ノット、兩岸の珊瑚礁を嚙む白い波濤がありありと見えて來た、島には まだ伏兵が ゐるかも知れないのだ、何といふ大膽さであらう『掃海開始』の號令とゝもに艦尾の方でブーンと音がした、愈よ掃海開始だ、一機また一機、友軍機がマスト上を物凄い唸りを殘して飛び去る、つゞいてさらに重々しい響きを立てて爆撃機が〇機その勇姿を紺碧の上空に現し敵を求めつつ島の上を旋回する、海空一體の戰闘はいよ〳〵開始されたのだ、進航することを約一時間半敵は機影を數設する餘裕すらなく逃亡したものか、遂に一個の機影も浮かばなかつた、直ちに小ニコバル島のミロに向ふ、午後一時ミロの沖合に投錨、床の高い住民の小屋が五、大棟岸邊に點る椰子の葉陰にちらほら見える、わが海鷲はその椰子の上をすれ〳〵に飛んで哨戒してゐる、前甲板に整列を終つた陸戰隊が緊張の色を漲らせて小艇に乗り移り木の葉のやうに揺られながら波に乗つて進む、そつと陸をあげて見ると岸邊では白いシャツを着た男が両手を頭に振つてゐる、われわれを迎へに來たのだ、近づくと岸邊北方を指して頭に手を大きく横に振る、敵兵はゐないといつてゐるつもりだらう、ザーッと波に押されて小艇は砂濱に乗り上げた、陸戰隊は時を移さず椰子林へと突進して行つた、信號兵は直ちに小高い砂丘にのぼつて本艦に『上陸成功』の第一報を送つてゐる、敵はすでに退散して支那人の一家族と少數の住民しか殘つてゐない

感激の標識建立

彼らは椰子の實拾ひと魚釣りに平和なその日〳〵を送るのみで大きな世の變動など知らぬのであつた、濱邊の小高い場所に『大日本帝國海軍占領昭和十七年六月十三日』と大書された一間餘りの角柱を打ち建て其前で一同萬歳を三唱した、住民の勸める椰子の水に咽喉を潤したのち本艦に引揚げる、その日の夕刻さらに進んでニコバル群島のほぼ中央に位するナンコーリ島を同様占領した、こゝに英國は早くから飛行場と艦隊根據地の建設に着手したのだが猛烈なマラリヤのために撃退され現在ささやかな無人の病院と原始的な住民の小屋があるばかりだ、たゞ路傍に『メイド・イン・ジャパン』と書かれた空箱や明かに『アサヒビール』の空箱が散在するのには驚かされた、住民の語るところによると戰前は數十トンの小舟に乗つて日本の漁夫が遙々印度洋の怒濤を乗越えてこのあたりまで進出してゐたことが判りその勇敢な海洋魂に感激させられた、その夜は同島沖合に假泊、翌十四日午前八時半出港、群島の最北端に位するカールニコバル島に向ふ、同じ群島の島ではあるがナンコーリ島から百浬今さらながら印度洋の廣さを知るとともにこの廣大な海洋を完全に制壓しつつあるわが海軍の威力に驚嘆するばかりだ、瀬戸内海の風景を思はせるやうな島々を縫つて艦が激浪に戯れるのを見ながら目指すカールニコバル島の沖合に投錨したのは午後五時であつた、沖から見る同島は今までの山々たる山岳に包まれた島々と違つて海岸にはマングローブが茂つて美しく群島の全人口一萬餘のう…

早くもなつく島民

わが精鋭なる海軍部隊が奇襲上陸したニコバル群島は、南西の季節風吹きまくり物凄い激浪が嚙つてゐる雄大たる印度洋にぽつかり浮ぶ群島だ、その周囲は切り立つたやうな絶壁に圍まれ椰子樹、檳榔樹、棕櫚樹など鬱蒼たる密林は汀から直ぐはじまつて全島を蔽ひつくしてゐる、記者はわが海軍部隊とともに上陸、言葉の通ぜぬ原住民と身ぶりで彼らの生活状況を聽いた

この群島は

今から百八十六年前デンマーク人が占領したのをわが寶暦元年頃(今から八十三年前)英國はこの地方の海賊を根絶すると稱して軍隊を送り占領し最近はシンガポールと印度を繋ぐ中繼地として防備強化に狂奔、飛行場、無線施設などあらゆる軍事施設を建設してゐたが皇軍の上陸で忽ち占領されたのである

政治的には

アンダマンの直屬として北端のカールニコバル島に支廳長がゐて治めてゐた、その影響をうけて住民の中にはシャツ類を纏つてゐるものもゐたが、南へ百二十海里距つたナンコーリ島、大ニコバル島などの原住民は臆くほど原始的で奥地には小柄なチャンリ族がゐる、沿岸に住むニコバル族は全部狩獵生活で色は黒く男は僅かに腰に赤の褌をしめてゐる、女は草の莖を細く編んだものを腰から膝に纏つてゐる、島には道がほとんどなく眞つ黒な彼らが樹間を跣足で駈け廻る姿はまるで類人猿を思はせる、住宅は椰子の枯葉…

皇軍が上陸

した時も猿のやうに椰子の木に上り椰子の實を落して飲めと進めてくれた、夕闇迫る頃、海岸に出て四、五名一組となり、英國人は椰子油を採取に來ても代料は海水である、飲料水はほとんどないので椰子の汁を飲んでゐる、その實や魚介類を入れて煮る、調味料ことは知つてゐる、民族様に芭蕉の實で物々交換をする、椰子の實二千個と米一升がお決り相場だ、物を煮る時は鍋なども持たない、何百年目に一回來る字は書けない、言葉はヒンドスタニー語でしやべるだけで見たこともないらしい、勿論新聞も知らない、まち豚や鶏も人間と同居だ、まるで豚も鶏も人間と同居だ…彼らは豚を唯一の財産として飼育してゐる、床が二間位高い、彼らは豚を組み脚をはね踊つて踊る、この舞踊會が彼らの唯一の慰安である、島と島との交通は椰子の幹を円くくりぬいて長さ二間位のカヌーをつくり横に『コ』の字形の支へ木をつけて顛覆を防いでゐる、手先は器用で木工に巧みである、皇軍が上陸したら直ぐ酋長の肝煎りで歡迎の舞踊會を催したが、それが終つたら民族と第二羽を贈りたいと部隊長に申出でた、第二羽を手放すことは彼らにとつては大變だ『大日本海軍占領』の標柱を高く建て軍艦旗を掲してから〇〇指揮官は『此處は日本が占領したのだ、今後はお前の住み易いやうにしてやる』と懇切に説明してやると彼らは日本といふ言葉をきいて歡び、砂の上に跪いて感謝した

ち三分の二以上がここに集つてゐる、戰前英國はアンダマン群島に支廳を置いてゐて住民の小屋に混つて赤い屋根の洋館も散在してゐる、陸戰隊員らは胸まで海水につかつて進二無二上陸した住民らの歡呼をあとに同島奥深く進撃したが逃足の早い敵兵はここにも姿を見せなかつた、海岸の英國旗を撤揚してゐた高いポールにわが軍艦旗を掲げかくしてニコバル全群島の戡定作戰は終了したのであつた、開戰直前英國は同島の飛行場建設のためアンダマン島から多數の囚人をつれて來たが開戰と聞くや支廳長夫妻以下の英人は逸早く印度に遁走してしまつた、島の住民たちは開戰後に島民以外の人間を見るのははじめてだといふ、住民の半數は印度人で服裝も整ひ英語も判り他の島々に比べて程度は高いやうだつた、記者らを見ると『我々はニュースによつて知つてゐる』といつて寄つて來る、マレーもシンガポールも比島もジャバもビルマもすでに英米蘭の支配を脱したと聞かせてやると眼を丸くして驚き印度はまだかどうか一刻も早く日本人の力で英人を追ひ拂つてくれと眞劍になつて頼む、島から夕闇の迫るなかふたゝび南十字星がやうやくまたゝきはじめたころ本艦は印度洋上を凱歌を奏しつゝ歸航の途についたのであつた

育む海の勇士

船員養成所募集

朝鮮海事報國團では船員需要に呼應して船員増産を目指し八月一日から清津、仁川の二ヶ所に船員養成所を增設して船員の確保に乗出すことになつた、入所資格は初等科卒業程度で養成日數は僅か五十日ではあるがこの短期間に船員必須の課程を授け實習訓練を行ひ戰時下船員としてお國のお役にたてようといふ狙ひ、これで既設の釜山を入れ全鮮三ヶ所の養成所から毎年七百廿名の海の戰士が生み出され朝鮮はおろか南洋までも進出させようといふ親心である、なほ被服、食料、給料は養成所から支給される

この眼で見た戰果

村岡本社特派員の從軍講演會

大東亞共榮圏建設の崇高なる理想達成のため、皇軍が威武の劍を揮つて起つてからこゝに七ケ月、その戰果は世界を驚倒せしめ、更に一億の進撃をしつゝある、この大東亞戰の戰況を銃後に報道するため本社はさきに南方戰線に村岡貴記者を特派し、その正確にして神速なる記事は讀者に熱狂的な反響をよび起したが、この程同記者が硝煙の香り高いなまぐさしい現地に逸れて歸還したので生々しい戰況報告は必ず讀者に深い感銘と感激を湧き起させずにはおかないであらう、なほ講演會日程は次の通り

現地報告大講演會を開催することになつた、やくが如き炎熱のもとジャングルを分け、山を越え、河を渉ぎ、皇軍將兵と共に勞苦を分ちつゝ報道に挺身した村岡記者の一ケ月にわたつて全鮮各地に南方へるため二日釜山をふり出しに

▲二日釜山▲三日大邱▲四日大田▲五日全州▲六日光州▲八日清州▲十一日仁川▲十二日海州▲十三日平壤▲十四日新義州▲十七日元山▲十八日咸興▲二十日清津▲廿四日春川

寫眞＝上から大日本帝國海軍占領の感激の標識打込み、上陸成功の第一報を沖の本艦に送る信號兵、母艦を後に小ニコバル島に向ふ陸戰隊(海軍省許可濟第五七一號)

體錬する田中さん

庭球王國殖銀に挑戰

道義朝鮮の確立はまづ健全なる身體から――運動好きで有名な田中政務總監は灼熱の夏を克服せんものと四日午後三時から總督府庭球場で殖産銀行と庭球對抗試合を試みる、當日總督府側のメンバーは▲田中總監、石田厚生局長▲伊藤勅任事務官、森園審議課長▲岸福政課長、乾土地改良課長▲服部經濟課長、星出事務官▲吉良厚生課長、岡保健課長▲山名計畫課長、角永物資第一課長▲林勞務課長、西尾政課技師といつた錚々たる老童連、挑戰を受けて起つた殖銀は名にし負ふ庭球王國だ、直ちに整へた陣容をみると▲林頭取、野副支店主任、永松…課長▲向井商業課長代理、西澤調査役▲北川調査役、氷山調査役▲野島工業主任、高原商業課長代理▲來島庶務課長代理、田中人事主任▲永井監査役、山本計算課長代理といつた顔觸れである、書類、帳簿、算盤を離れての對戰だが昔と違つた杆例通りにゆくかどうか、とまれ"現實を遊離して政治はあり得ない"と喝破する田中さんが大地に第一歩を踏み下した圖である

征け！ワシントンまで

皇軍大勝利記念日

十三名の遺兒

支那事變が起つて五年、生れた子供は大ツになつた
"ボク達のお父さんはこの旗の下で死んだんだ"
天まで伸びる日の丸の旗を見上げながら、遺兒たちはきつと叫ぶ
"お父ちゃんの仇、米英を討つまでは僕は靴を履かないぞ"
"兄ちゃんを死なせた蔣介石が生きてるうちは、わたしはお人形…"

"戰爭はいつ濟むんだ、いつ濟むんだと聞かれましてな――は、こまりましたよ"
軍人村の班長さん小山…氏は

日の丸の旗を仰ぎ今日も呼ぶ幻の父

強く伸びる軍人村の事變ッ兒

京城版

これでよいのか！
灰にした二百萬圓
火の用心を忘れるな

火を注意しませうか、火の注意は充分ですかと、京畿道警察部では數年前から防火思想の普及徹底を叫び續けて來たが、火の手はその後も一向に鎮まらず、今年一月から六月まで半年で出した火災は損害一萬圓以上の大火災だけでも廿一件、二百六萬餘円の巨額に達し昨年の道内全火災の損害額を凌駕してゐる、道警察部では物資貴重の折柄ますます増加の傾向にある火災について重大關心を持ち、一日次の如き警告をも爲すなと一日次のやうな原田警察部長談話を發表して府民に警告を發した

原田京畿道警察部長談

火災豫防に關しては今更申述ぶる迄もありませんが例年道内全火災損害の九割以上が會社、工場、學校、病院、商店等でありまして大東亞戰完遂下一億國民の總力を發揮して物資節約資源愛護を強調しつゝあります秋、僅かな不注意から貴重なる國家の財寶を灰燼と化しつゝあります事は眞に遺憾に堪へません、これ等大建築物に對する火災の防止對策は

國家的見地

から見ましても重大なる問題でありましてこれが爲本道と致しましては昨年四月以降凡ゆる機會において種々なる方途を講じ而も數回に亘つて防火訓練を實施し防火思想の普及徹底に懸命の努力を拂つて來たのでありますが火災は依然として増加の傾向を示しつゝあり

本年一月より六月末日に至る一萬円以上の損害を蒙りたる火災のみにても二十一件損害見積額二百六萬餘円の巨額に昇り僅か半歳にして既に昨年中における道内全火災の損害額を凌駕して居る實情に在りますがこれ等の原因は悉く不注意に基因する失火であります

更に其の内容を調査究明して見ますと建物の管理者又は代表者たる幹部即ち長たるべき者が火災豫防上熱意の無い事が判然と窺はれるのであります、要するに最高幹部が火災の豫防に眞劍ならざる結果必然部下も

無關心狀態

にありて精神的に大きな隙を生じ居る他面斯樣な所に限つて物的豫防施設として何等見るべきものもなく此處に大なる缺陷があるのであります

斯の如き缺陷を是正し大建築物火災の絶滅を期すべく本年二月より三月末日に亘り道内一齊に防火施設狀況を調査し細部に亘つて不備の箇所を指示して防火施設の速急完備を促進したにも拘らず、其の後僅かに三月の間に十數件の大火が發生し其の原因たるや何れも不注意に因るもので、中には木炭自動車の瓦斯發生爐の殘火不始末に因るもの最近數件の發生を見たる實例あり

これ等の會社、工場に付其の後における防火施設の實施狀況を檢討して見ますと依然として何等の施策も施さず當局の指示に耳を傾けず當然爲すべきことを爲さずに

災禍の前轍

を踏みつゝありますことは時局柄敢て非國民と申すも過言ではないのであります、その間幹部以下一使用人に至る迄精神的に弛緩のあることを見逃すことは出來ません、銃後の時局は日一日と緊迫の度を加へ今や一億國民打つて一丸となり聖戰完遂の牢固たる信念を固め敵性國家の謀略を粉碎し必勝不敗の決意を以て大東亞戰完遂に一路邁進しつゝある秋、火災に基因する國力の損耗は一工場長の責任のみにては贖罪し之を補ふことは出來ないのであります、帝國聖戰完遂の重責を負荷する國民の一人一人が全責任者たるの覺悟を新にし各家庭から一つの火災も出さぬ心構と細心なる注意を拂ひ殊に大建築物の管理者は自ら率先垂範防火施設の徹底完備を圖ると共に全從業員に對して防火觀念を普及徹底し以て火災の絶滅を期する他殉死貴せる熱意を實施して鉄桶の防火對策を講ぜられんことを念願する次第であります、尚此の機會に火災を惹起せしめたる責任者に對しては寸毫の假借を許さず徹底的主義を以て臨む方針であることを一言申添へて置きます

原田警察部長

興亞家政女學院新築落成式

興亞家政女學院では四日午後二時から學院新築落成式を擧行するが、當日金世旭氏育英記念碑の除幕式をも併せて擧行する

百萬府民待望の綜合體育鍊成場
總工費 約卅萬圓で建設

百萬の人口を擁してなほ膨脹の一途を辿る京城府では豫て府民待望の綜合體育鍊成場設置について銳意立案計畫中であつたが、都市衞生と積極的な體力鍊成上いよいよ十八、十九兩年度繼續事業として總工費二十九萬八千円（うち二十二萬三千五百円は國費及び道費補助申請中）をもつて龍頭地區、永登浦地區、敦岩地區に合計三萬六千坪の府民體育鍊成場を建設、府民待望の大體育場が實現することになつた、各地區の設計をみると次の通り

▲龍頭地區　使用不能となつた清涼里及び危險極まる漢江の二滑氷場しかもたぬ府民の多の健全娯樂に備へ遊水池を利用して一大滑氷場を建設し一般府民に解放するほか軟式野球場及び四面の庭球場、三面の籠球排球場を建設して一般府民の心身鍛鍊に解放する、總工費廿一萬円

▲永登浦地區　場所から工場從業員の體育鍊成場に當てられトラック及び一般の練習用、競技用として二面の庭球場、一ケ所の兒童遊園地を建設する、總工費五千五百円

▲敦岩地區　軟式野球場一ケ所及び兒童遊園地一ケ所を建設、總工費三萬三千円

向上會の代表者が聖地參拜

府内私立中等學院職員による向上會では第二回聖地參拜團を組織し團長河東信宗氏ほか四名は一日午後二時四十分京城驛發内地に向つたが十四日歸城の豫定

東大門署へ獻金寄託

清涼里町六八一安部兼さんは陸海軍へ各廿円宛を獻金すべく一日東大門署へ寄託した

何れも大幅引下げ
青果、蔬菜類の新公價

味覺のシーズンに入り一日から京城府の青果蔬菜類の新公價がきまつた、何れも大幅引下げで出廻りのよくなるにつれて家庭料理に花を咲かせることであらう（括弧内は舊價、何れも百匁當り）

西瓜八錢（十九錢）メロン六十錢（一円二十錢）胡瓜八錢（二十五錢）かぼちや十錢（十四錢）茄子十五日まで九錢、十六日から六錢（二十五錢）トマト十五日まで十四錢、十六日から七錢（二十七錢）かぶ五錢（八錢）馬鈴薯四錢（七錢）キャベツ五錢（十錢）隱元豆、さゝげ、ふぢ豆八錢（十七錢）枝豆十錢（十五錢）唐辛子二十錢（四十錢）

思ひ起す五年前
貞信女學校で『事變記念週間』

明倫町貞信女學校では支那事變五周年記念日を迎へるに當つて新しい感激を盛り上げるため一日から一週間を記念週間と定めて全生徒を中心に各種の行事を行ふことゝなつたが、日程は次の通りである

▲一日、國語生活標語發表會▲二日、慰問袋製作▲三日、遺家族慰問▲四日、徵兵制實施記念音樂會および記念運動會（午前時九半）▲五日、特別講演▲六日、集合默禱

なほ一日の國語生活標語發表は同校が擧てから生徒間に懸集中のもので あり、一年生末原幸子さん『話す國語に輝く貞信』二年生『買ふは國債、使ふは國語』三年生氷城嶽一さん『國語で語れ明朗半島』四年生大山内子さん『御民のしるしに皇國の言葉』ほか數種が選出された

二重貸しは禁物
再出發する『東大門貸家組合』

五月に一應は任意の結成をみた東大門貸家組合は今回朝鮮貸家組合令第九條によつていよいよ法的根據に基いて新しく東大門貸家組合として再出發を行ふこととなつたがその創立總會は五日午前十時から惠化町東星商業學校で開くことゝなつた なほ結成後は家屋の二重貸を行ふ惡店子は一切排撃して絶對に家主對店子の正しい賃借位置の下に修正され、また組合員が店子への新貸借を行ふ場合は一應組合を通じて契約を行はせる建前をとることゝなつた

會員の加入は強制はしないが、加入者が現在數より數い場合には京畿道よりの必要な命令を受けてある程度の強制加入を勸誘することになつてゐる

府民館の場内整理料値上げ

開場の都度眺めたい人に見、聞きたい人に聞いて貰ふといふ混雜を緩和し本當にみたい人に見、聞きたい人に聞いて貰ふため京城府民館では場内整理料十錢を從額二十錢に引上げることゝなつたが通常の有料入場料は從來通り五錢十である

榮養食で〃夏季攻勢〃
師範附屬 第一國民學校

『ボクらが強くならなけれや長期戰は勝てないぞ』

男の子は叫ぶ

『アタシたちは何でもかでもウンと喰べませう、そしてウンと大きくなるんです』

女の子の決意も固い

『次の日本を背負つて起つのはボク達少年だい……』

京城師範附屬第一國民學校の〃幼き魂〃は今絡起ちの決意に燃えさかつてゐる、この夏をいつたいどうして送らうか？山に海に皮膚を鍛へること勿論、靜かな林間の讀書は〃日本精神〃を呼び醒すであらうとの楽しさに少年たちは胸ふるはせてゐる、何といつてもこの學校でいちばん誇りとしてゐるのは十年間の歴史をもつ『給食設備』の完備である、全國でも恐らくいちばんだらうといはれる『給食室』では今日も百二十名の男女兒童が

『イタダキマス……』

と大きい聲を張りあげて、にこにこ顏で樂しいお皿のひとゝきを迎へる麗食やなんかで青白いウラナリ瓢簞みたいになつたんではお天子樣に申譯ないといふのがこの學校の建前だ、だから内臓を内から鍛り返さうといふ運動がこの夏の大きいプランになつてゐる、一年中でいちばん榮養のとれない時季を『榮養食』の給食で乘切らうとの狙ひであるわけである、一年生の母親にあたる家庭の上田フサ女史などが後衞に控へての完壁振りだ、道理で美味しい、八組の

これらの栄養料理の直接の擔任者として若く美しい梶本勝世さんがをり、榮養相談については城大高井博士をはじめお料理を捧げてゐるわけである、一層その交替で學校に出張して眞心こもる子供の聲を本郷であつ十名のお母さん方が當番側で毎日童の父兄保護者である、つまり九この中のお手傳ひとある三名は兒ることとなつた

【寫眞＝樂しい給食のひとゝき】

お知らせ

一、七月一日給食お手傳ひは戸澤、村島さん
二、忘れずに『カンユ』をのみませう
三、お水は大切にしませう
衞生部

『小兒體質の異狀に就て』
清和女塾で講話會

乳幼兒の健康を調査して人口資源に一臂の協力をしようといふ目的で七日午後一時半から初音町二〇〇清和女塾では城大小兒科助教授高井俊夫博士を招いて『小兒體質の異狀について』の講話を聞くことゝなつたが、そのあとで小兒の發育調査上必要な懇談を交へ綜旅家庭婦人の育兒法に指導性を加へることとなつた

街の篤志家
金本さんの美擧

龍頭町會第三區第八班員金本龍燮氏は約五年前から一日も缺かさず町内を清掃して町民感謝の的となつてゐるが、大東亞戰の火蓋が切られるや〃何を措いても軍人遺家族を護らねばならぬ〃と、それからは毎日近隣の遺家族宅を訪問して何呉れとなく身の廻りの世話をして〃有難い銃後の篤志家〃として町民一同から感謝と信望が寄せられてゐる

培材中學の長距離強歩大會

強い立派な軍人の育成を期すべく貞洞町培材中學校では全校生一千餘名を總動員して廿九日仁川まで往復十六里の長距離強歩大會を行つた

同日午前六時から全校生は意氣高らかに京城を出發、灼熱の炎天にもめげず仁川に到着後、約二時間を水邊來落の鍛鍊に勵み午後八時、無事京城に歸つた

卒業生の職場進出に拍車
京城女子商業校

日を逐つて增加する銃後女性の職場進出と相俟つて實業女學校卒業生の動向が注目されてゐるとき、京城女子商業學校では光山校長が音頭を取つて〃お國のため一人でも多く職場に出て働くやうに〃と十八年度の卒業見込者に 對して在城の生徒はいふまでもなく、卒業後郷里に歸る生徒も一應は職場につくやう學校當局が斡旋の下に半島人の家庭にありがちな〃女性は外出すべからず〃の舊習を脫し喜んで家庭の乙女達を適當な職場に出て働かせるやう積極的な協力を促すことゝなつた

遞信事業會館で『詩吟大會』
事變五周年記念日

遞信局では支那事變五周年記念日の七日午後六時から太平通遞信事業會館で從業員の詩吟大會を催し記念日を意義づけ米英打倒の決意を新たにし日本精神の昂揚に資することになつた當夜は遞信局及び府内各郵便局から多數參加し盛會が豫想されてゐるが、審査員には局長及び各課長が當る

『家族制』を布いて兒童らは朗かに食べる、お菜もお米も一粒も餘さず食べる、食べ終つて頭かきかきツツと差出す兒童の丼には優しく微笑んでお母さんが盛つてやる一回食二十五錢に當り月四石の米が消費される、配給機構は今のところ円滑で兒童はモリモリと肥つてゐる

『お蔭で全鮮各地から視察團が見えますよ』

と三田主事も大いに張切つて夏の營養報國を誇つた

愛の赤道 【141】
竹田敏彦 作
都竹伸一 繪

暗に射す影（六）

……それでは、小生の離家をこゝに關係に別けて認めませうつて、萬事不自由なく大槻本家にて負擔のこと

一、出産の費用は、小生の名によ

一、出生の子供は、大槻二郎の嫡子として入籍のこと

一、出生の子供のため、この際父より大槻家財産中、小生に係る遺留分決定のこと

大體以上の通りです。而この外にも、事の當然の結果として、小生と千鶴子さんの結婚が取決められるべき筈です、しかし、これについては、左の事情、何卒御考慮願上げます……

千鶴子は、はつと胸を打たれて、次の文句に恐しく眼を移した。

……實は小生豫て志願中の御用申出が御許可に相成り、不日軍屬として征地に赴任のことになつてゐます。御承知の通り、小生は、豫て國家の干城として、一旦緩急あれば身命を、邦家の前に捧ぐるを本懐とし、陸軍士官學校に學んで、軍人を志願してゐたのでありますが、途中不幸にして病魔に冒され、初志の貢獻を阻まれましたが、なほ遠く萬里の海外に出で、家郷を捨てゝ、南溟の地に在つたのも些か國事に身を挺さんとする念での微衷に他ならなかつたのです、時偶々、未曾有の大戰に會し、有史以來の大業に向つて一億邁進の此秋、何事ぞ、小生のみ郷家の事情にて、常住の第一線地帶を退き、同地は既に戰塵砲火に包まれ、知人同僚、勇躍身を挺して、我が戰鋒の死守に力め、しかも二三の同僚知己は、遂にその犧牲となつて、壯烈無比の最期をさへ遂げてゐます。しかるに小生ひとり、安全の地に退いて無爲の日夕を貪すばかりか、病情の囚となつて男子最大の恥を曝したのです。誠に萬死を以てわびるの外、邦家に對し、知友に對し、何の面目がありませうか。今回の從軍志願も、偏へにこの覺悟に基づくもので、今や未曾有の大作戰、生還もとより期するところではありません。否、潔き最期こそは、小生がひたすら望むところです。

さうなれば、自然考慮されるのは、結婚の問題です。死を期して征く男子に、何の結婚でありませうや。これは、名のみの未亡人を殘して、あたら末長き婦人の生涯を、約束することに他なりませぬ。恐らく千鶴子さんも、僕のこの氣持は、十分諒としてくださること、思ひます。御本人の御意志もお糺し願ひます……

千鶴子は、二郎の悲壯な心情に溢れる涙を拭ひかねてゐたが、こゝまで讀むと、二郎の深い意志がますますはつきり心に讀めてきた。勿論、關係もない二郎に、この汚れた體軀をもつて、結婚などは夢にも望まないし、また絶對に望むべき筋合でないことは、千鶴子にだけは、十分わかつてゐた。

……さて、さうなると、僕の出征後です。こゝに歎從策の一條を差加へます。

一、小生出征後は、千鶴子殿は小生分決定の財産にて、別居の上出生子を養育すること

一、或る程度出生子生長の上は、千鶴子殿意志のまゝ、自由に前途の方針を立てること、尚この場合は小生分財産の一部を千鶴子殿に分與すること

千鶴子は、遂に手紙をおいて、餘りにも深い二郎の厚意に、わツと、その場に泣き伏したのである。

ラヂオ 二日

朝 六・三〇支那事變の歴史的意義（二）大川周明▲九・〇〇戰時家庭の時間『北支の兵隊さんをお訪ねして』美川きよ▲一〇・〇〇ウタノオケイコ『ナツノウタ』（二）奥田智恵子▲一一・〇〇お話『野口英世』田中賢司

晝 〇・三〇（名）支那事變聖戰讃歌名古屋放送合唱團▲二・〇〇朗讀『消息』（二）▲一・三〇私達もかく戰ふ（二）奥むめを▲二・〇〇共榮圏講座『支那の話』田中香苗▲二・三〇（城）『水の三態』朴讚烈

夜 六・〇〇妻と兵隊池田忠夫▲六・三〇（城）漫才『鼎』▲七・三〇國民合唱『君が代』漫畫定之▲八・〇〇軍事發表『支那派遣軍は斯く戰へり』岩崎春茂▲放送劇『戰場歌』三澤田健ほか▲九・〇〇（城）朝鮮農業報國青年隊を語る（鮮語）―錦書―▲一〇・〇〇バタビヤより『ジャバ作戰の九日間』富澤有爲男

夕刊
京城日報

英地中海艦隊自滅の運命

獨伊軍の鋭鋒愈よ急迫
亞港重要軍事施設に地雷
戰艦一、巡艦六自沈の準備

【ストツクホルム特電】(三十日發)カイロ來電によればマルサ・マトルーの陷落に相前後して廿九日早朝アレキサンドリヤに樞軸空軍の來襲があり [illegible] アレキサンドリヤ市民 [illegible] 日午後アレキサンドリヤ [illegible] ためにこれを通過 [illegible] 態は紛糾の一途に [illegible] アレキサンドリヤの地位が今や [illegible] は豫て收容中のイ [illegible] 設も亦既に即時爆發し得るやう地雷敷設を完了したと報じてゐる

地中海 ポートサイド 運河 スエズ カイロ エジプト アレキサンドリヤ エル・ダバ マトルー シディバラニ バルディア トブルク リビヤ

要衝エル・ダバを抜く
樞軸軍亞港へ百七十キロ

【ストツクホルム特電】(三十日發)カイロ來電によれば、アレキサンドリヤ、マルサ・マトルー鐵道の要衝フカに雪崩を打つて殺到したロンメル元帥麾下獨伊軍部隊は廿九日夜これを占領、卅日朝先鋒部隊は既にアレキサンドリヤ西方百七十キロのエル・ダバ西部に迫り、目下必死に敗走するイギリス軍の殿軍部隊と激戰中

【リスボン三十日同盟】ユーピーカイロ電によれば、マルサ・マトルーを陷れたのち忽ちフカ東方に進出した樞軸軍は三十日遂にフカ東方五十五キロのエル・ダバを抜いて一路アレキサンドリヤ指して疾風の如く猛進撃をつづけてをり、樞軸軍はアレキサドリヤまで僅か百七十キロを餘すのみとなつた

住民續々引揚げ

【イスタンブール三十日同盟】[illegible] アレキサンドリヤおよびカイロの住民は續々同地を引揚げレバノン、シリヤおよびエジプト南部に續々避難を開始してゐる

英軍たゞ狼狽

【リスボン三十日同盟】[illegible] 深刻に憂慮し三十日エジプトの情勢は極度に重大化するに至つたと言明した

【ローマ卅日同盟】[illegible]

亞港とカイロ

アレキサンドリヤに向けて殺到する獨伊軍を阻止せんと焦つてゐるが、獨軍はすでにエル・ダバを突破しさらに猛進撃續行中であるが、かゝる事態の變化に狼狽したカイロの英軍司令部はアレキサンドリヤおよびスエズ運河の周邊にある防禦陣地による抵抗のほかなしとして目下着々準備を急いでゐる、この要塞は構造も舊式で獨大型爆彈の効果的な [illegible] 壞に堪へ得べくもない、一方英軍の敗戰を契機として澎湃として起つたエジプト内における反英運動と政界の動搖はいよいよ激化し英軍當局の苦衷は想像に餘りある

英の政治的危機尖銳化

【ストツクホルム三十日同盟】エジプトの前衛基地マルサ・マトルーを一氣に屠つた樞軸軍は息つく間もなく一路英東地中海の牙城アレキサンドリヤ目指して怒濤の進撃をつゞけてゐるが、英國朝野は右重大事態を深刻に憂慮してゐる、三十日當地に達したロンドン情報を綜合するにエジプトにおける英軍の敗北は英國の政治的危機を益々尖銳化し英下院ではエジプト危機の前兆ともいふべきリビヤ敗戰の理由を政府に糾問する聲が囂々と沸き起つてをり、三十日のオブザーバー紙は次の如く論じてゐる
北阿における英軍敗戰は結局英國の兵器その他軍需資材が技術的に劣る劣悪な點に歸着する、隨つてまづリツトルトン生産相がリビヤ敗戰に關する下院討論の矢面に立つこととならう、また獨ソ戰線における獨軍の攻勢開始とエジプトの危機は聯合國にとりフランスの崩潰以來最大の危機を釀成してをり、その影響はまづチヤーチルの國防相辭任となつて表面化せねば收まるまい、よつて下院の討論も英國の戰爭政策の修正要求に集中されるであらうし政府反對派は軍事的のみならず他の點からも政府の戰爭政策を完膚なきまでに糾彈するであらう

メキシコ怯ゆ
油槽船の航海一時中止

【ブエノスアイレス廿九日同盟】タンピコ來電によれば、樞軸潜水艦の攻擊に怯えたメキシコ軍當局は二十九日改めて通告あるまで一切の油槽船航海を一時禁止すると同時にタンピコ港に燈火管制實施を布告した、右措置はメキシコ參戰以來すでにメキシコ油槽船タクスパンおよびチヨアパの二隻が樞軸潜水艦の犧牲となつてゐるためとられたものである

英ソ經濟協定調印

【リスボン卅日同盟】ロンドンよりの報道によればさる二十二日モスコーにおいて駐ソ英大使カーとソ聯外國貿易人民委員ミコヤン氏との間に對ソ援助物資代金支拂に關する調印を了した旨イギリス政府より發表した

カナダ商船擊沈

【リスボン三十日同盟】ワシントン來電によれば、アメリカ海軍省は小型カナダ商船一隻がカリブ海で樞軸潜水艦の襲擊をうけ沈沒した旨三十日發表した

敵最後の牙城指呼
わが精鋭敗敵を急追
江西戰線

【弋陽三十日同盟】二十九日正午弋陽を占領したわが部隊は群る敗敵を一蹴しつゝ浙贛線に沿ひ猛進三十日夕刻浙贛線上敵最後の重要據點〇〇を指呼の間に望む線に進出した

常德、桃源(湖南)を猛爆

【上海一日同盟】重慶來電によれば、日本航空部隊は三十日午前編隊をもつて湖南省北部の常德、桃源を猛爆した

クールスク地區
獨ソ軍、激戰を展開

【リスボン卅日同盟】モスコー放送によれば、ソ聯情報局は卅日夜有力なる獨歩兵部隊および戰車隊が卅日クールスク地區で大攻勢に出で目下激戰展開中と發表した

米商船雷擊

【リスボン三十日同盟】ワシントン來電によれば、米海軍省はアメリカ小型商船一隻が米太平洋岸において魚雷攻擊を受けた旨二十九日發表した

支那事變 兩吟味

絶つべし・東亞の禍根
岡村勝實

事變勃發のとき私は北支にゐたが當時北京周邊にゐた第廿九軍は我が軍に對し、ことに上層部は表面極めて親密かの如く裝つてゐたが營長(大隊長)以下の兵隊は深刻なる抗日、侮日の思想により徹底的に訓練されてをり、滿洲事變にも敗戰したとも思はず〃抗日戰勝記念〃なるものを勝に輝かせてゐる淸潔な奴もゐた、また一面米英の魔手にあやつられた時の南京政府蔣介石に踊らされてゐたのだ、かういふ狀態にあつたためわが軍との間には常に不愉快な小競合ひが絶えなかつた、適當な時期に大手術を施す必要を感じてゐたのであるが常に隱忍自重、徹等に反省を促してゐたのである、たまたま昭和十二年七月七日盧溝橋畔における敵の不法射擊を端を發し永定河右岸にこれを驅逐し、續いて宛平縣に迫らんとしたが不擴大主義の指令を受け隱忍自重しなければならぬことになつたこれがために憎むべきこの敵を敵と呼ぶことが出來ず〃惡い弟分〃としか看做されずそのために八日の戰鬪で戰死したものが名もなき一小事件の犧牲にすぎないといふことになりはしないかと心配したものである、この現地軍の惱みは深刻であり他の者の到底想像出來ないものがあつたのだ、この惱みの續くこと約三週間遂に中央の斷により國論は統一し廿六日夜に廣安門事件等があり、廿七日には第廿九軍長宋哲元に對し最後通牒を發し、ここに斷平支那軍膺懲の火蓋を切り第廿九軍を〃敵〃として攻擊することになつたのである

爾來戰局は發展し遂に今日の大東亞戰をみるに至り支那事變勃發當時の英米も大東亞建設の礎石として安かに眠まることが出來たのである、われわれは大東亞戰爭下にある今日改めて支那事變の意義を再認識し支那軍を躍らせた米英を擊ち東洋の禍根を絶つことは當然であるが、これとともに躍らされた愚昧なる蔣一派の支那軍を根こそぎに潰滅してこそ大東亞戰爭も解決することが出來るのである、元來大東亞戰爭は支那事變を解決するために已むなく勃發するに至つたものであるから米英を徹底的に驅逐して大東亞戰爭を解決しなければ支那事變も解決しないわけである、銃後においてはやゝもすれば大東亞戰の戰果に幻惑され支那事變を忘れてゐる者があるやうであるがそれは本末を忘れた態度といはねばならぬ

筆者紹介 筆者岡村大佐は昭和十一年春から北京駐屯部隊にありて教育警備主任、支那事變勃發後は北京城内警備隊として活躍、その後現地部隊長となり後昭和十五年まで〇〇方面軍高級副官となり、歸還、京城師團報道部長となる【寫眞=岡村報道部長】

破壞されたる橋梁を進擊する皇軍=陸軍省提供=電送

日滿華誓ひも固し大東亞

輸送力の强化と港灣の防護
けふ稅關長會議開く

定例稅關長會議は一、二兩日に亘り總督府第一會議室に開かれるが一日は午前八時半開會、小磯總督、田中總監、水田財務局長、高橋稅務課長をはじめ田中仁川、齋藤釜山、周場新義州、坂本羅津各稅關長、内地、滿洲、台灣より各係官列席、國民儀禮に次いで小磯總督から別項の通り訓示があり續いて水田財務局長の演示あつて水田局長統裁の下に會議に入り各稅關長の管内狀況報告があつたのち『日滿支間物資輸送の强化方策』の諮問事項につき答申、午後は關係各局との打合せ協議を遂げて同四時第一日を終つた、明二日も會議續行、午前中は諮問答申、午後は打合せ協議を行ふ

總督訓示

本官此の度朝鮮總督の大命を拜して任に莅み、茲に就任最初の稅關長會議を開催し親しく各位の壯容に接し所管事務に付て各位の意見を聽取するの機會を得ましたことは最も欣快とする所であります

朝鮮統治に對し本官の抱懷する信念又は方針に關しては既に諭告聲明等に依り諸官克く諒得され居ることゝ存じますが此の機會に更に其の一端を申述べ留意を促したいと思ひます

惟ふに朝鮮施政の目標は既に歷代總督により具體的に揭げられ而して官民の協力に依り諸施策の運行が概ね順調に經過し來つて居りますこと衷心より欣快とする所であります、本官は從來揭げられたる政綱政策を繼承し、而も時勢と民度とに適應し進展せしむべきものに對しては極力内容の充實と實績の舉揚との爲に各位倍舊の協力に信倚しつゝ、平生聊か抱懷する所を以て施政の伸展を期するものであります

尤も各般の施政は斷じて現實より遊離することを許さず時勢と民度に即應して逐次暢達を期するを以て旨とすべきを豫想せられたいのであります、而して今や皇國はその總力を舉げて聖戰目的の完遂に邁進し國家の施策亦一切を舉げて此の一點に傾倒しつゝあるの秋顧みて我國北鎭の要位を抱する半島の責務に及べば其の負荷せられたる使命の重且大なるを痛感せざるを得ないのでありますが、この使命達成に不可缺の要件は世界無比の我が國體の本義に徹し之を基調とする道義朝鮮の建設に在るのであります、之が爲には朝鮮の特殊性格に徹して、先づ施政の各部門を擔當する官公吏が自ら其の心境を開拓し聖勅に遵由して更に一層國體の本義に徹し吏道を肅正刷新して以て民心に對する指導力を强化淨要し、一切のことを形式より内容へと掘下げ以て道義朝鮮の姿を顯現せんことを念願して已まないのであります

以下時局下稅關行政の機務に關し、二三所信を述べて各位の深甚なる考慮を促し且つ徹底せる實行を切望したいと存じます

一、稅關機能の發揚

凡そ行政事務執行の要諦は時宜に應じて樹立せらるる各般の政策を其の企圖するが儘に具現せしむるに在るは言を俟たざる所であります、然るに動もすれば各般の施策が行政事務執行の過程に於て歪曲せられ或は企圖せられざる方面に展開せられる虞なしとしないのでありますが、斯の如きは稅關事務執行上嚴に戒めなければならない所であります、又稅關は其の職能に於て時局の進展と共に從來の如き單なる徵稅機關たるに止らず、複雜多岐なる對外貿易交通の最初又は最終の關門たるを以て時々刻々强化擴充せられつゝある統制方策に順應する樣第一線行政事務の適正円滑なる運營を期すべきであります、尙克く萬般の政策につき其の本旨を諒得して機宜の事務執行を期するが爲には、官廳の機構に工夫を凝らすと共に達識有能なる官吏を鍊成しなければなりませぬ

故に各位は克く叙上の點に思を潛め、稅關の機構乃至處務規程その他の準據法規並に部下職員の再教育等に不斷の研鑽考慮を拂ふと共に、内は自ら行政事務執行の陣頭に立つて部下を指導薰陶し、或はその執行する日常事務の處理狀況を監察し、外、關係官廳との連絡を密にし、以て稅關事務運營の適實円滑を期せられたいのであります

二、物資輸送力の强化擴充

大東亞戰爭が長期戰に亘るべきこと殆ど疑なく而して長期戰の性格は一方に於て戰鬪を繼續し、他方に於て建設を進むべきをその特徵として居ります、從てこの作戰地域即建設圈内各地域間における物資の輸送力を擴充强化し以て物資交流の円滑を期することは頗る緊 [illegible] は大東亞共榮圈の中核をなす日滿支經濟交通の要衝に當るを以て朝鮮における物資輸送の適否は直ちに大東亞共榮圈活殺の原因となるのであります、政府に於ては夙にこれに鑑み叢に港灣運送統制令を施行し、以て輸送力强化の一助たらしめたのでありまして、朝鮮に於てもこれに基き港灣作業の合理化に付適切なる施策を講ずる方針を以て目下着々準備を進めつゝあるのであります、各位は海陸連絡設備運營の任に當り、日常船車連絡の中間に於て物資交流に關する行政の綜合的運營に携はつて居るのでありますから、克く現下朝鮮の負荷する使命に稽へ、各其の職域に於て十二分の努力を拂ふべきは勿論關係官廳と緊密なる連絡を圖り、以て輸送力の强化擴充に協力せられたいのであります

三、港灣の防護

港灣施設は海陸交通の紐帶でありまして、之が機能の減殺は單に銃後經濟交通を阻害するのみならず直接軍事行動に迄も影響を及ぼすものでありますが故に之が防護の完璧を期するの切要なることは敢て多言を要せざる所であります、而して港灣施設は概ね各位の管理運營せらるゝ處でありますが、由來港灣に於ける行政は複雜多岐に亘り、多數官廳の行政相錯綜する爲之が防護に付ても單に稅關のみの施措に俟つを得ない事情に在るのであります、之が運營の合理化に付ては向將來の研究に俟つ可きものでありますが、取敢ず叢に關係各局協議の結果港灣防護に關する方針を決定、之に準據し具體的防護方策樹立方に付現地關係各廳に對し示達する所があつたのであります(以下略)

◇…稅關長會議

人

◇足立利夫氏(朝鮮無水酒精社長)滿城中のところ二日新義州本社へ歸任
◇岡崎哲郎氏(朝鮮畜産社長)一日『のぞみ』で上京、廿日歸任
◇兒部穰輔氏(日本水産朝鮮支店長)淸津へ出張中一日歸城

時の錄音

埃及は非常戒嚴令、英軍司令官に撤退を要求してゐる。亂れる英國の末路をみよ。
×
第一線將兵の勞苦に等しいものが何時わが半島を襲ふかもしれない。
×
これは小磯總裁の聯盟理事會での結びの一言である。この言葉を眞摯に玩味反省しよう。
×
大東亞戰爭下に國家のために生き抜く努力をしてゐるのだとこの覺悟にもつと〱徹するのだ。
×
それが足りないから惡擦や不平が起るのだ。
×
下達上通は職なる形ちやないのだ。眞劍な血みどろの職務完遂へのひたむきの實踐なのだ。
×
總督、總監の慈愛に甘えてはならぬ。心せよ。